



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2014~2015年度クラブテーマ
会長 石井 謙次



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1291 / 2014. 10. 03

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

●本日の例会/ 2014年 10月 3日(金) 第1320回

卓話：「米山記念奨学事業について」
第2750地区米山記念奨学委員長
波多野 容子 氏 (東京恵比寿RC)

●前回報告 / 2014年 9月 26日 第1319回例会

卓話：「外国人投資家の目から見た、
日本経済と日本企業
～キーワードは「ターンアラウンド」
ブーケ・ド・フルーレット代表 馬渕 治好 氏



紹介者：穂苅会員

会長報告：

グローバルロータリークラブの川西副会長よりPRがあります。

「本日は例会へ出席させていただきありがとうございます。今年、グローバルRCは赤坂RCの皆様に絶大なご支援をいただき設立いたしましたことを改めまして感謝申し上げます。本日は厚かましいお願いでございますが、



PRさせていただきたく伺いました。来週10月2日(木)の例会の卓話に文部科学省初等中等教育局長小松 親次郎氏をお招きし「日本の教育問題を巡る課題と対応」についてお話ししていただくことになりました。是非ご参加いただければと思いお声掛けをさせていただきました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。」

幹事報告：先々週の例会のときにご案内した広島豪雨被災支援金につきましては、2750地区としての支援金へは参加せず、姉妹クラブである福山赤坂RCと歩調をあわせて支援しようということになりました。これにつきましては、グループ幹事の方にも了解を得ています。受付へ募金ボックスを置かせていただきました。これから、3週間ほどおかげいただきたいと思います。皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

グアム バーチャル美術館より

フラカシーニ
さんから、小学生を迎えて
の新しい写真
です。



9月 26日(金) / 12件 24,000円
累計 383,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

岩上義明/馬渕様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。長谷川さんニコニコご苦労様です。小林博茂/石井会長、所用でお休みです。岩上副会長よろしくお願ひします。世界も日本もタメ息の出ることが多いですが、皆さん今日のような秋晴れの気持ちでいきましょう!尾関武男/本日の卓話、馬渕様楽しみにしておりました。村山公士/長谷川さん初ニコニコご苦労様です。田村昭二/さわやかな秋晴れです。何かウキウキしますね。長谷川さんニコニコご苦労様です。土屋東一/長谷川さんニコニコご苦労様です。穂苅裕久/馬渕さん今日の卓話お引き受け下さり誠にありがとうございます。長谷川さん初ニコニコご苦労様です。清水寛/来週10月3日の私共のコンサートに来られる方でチケット未入手の方はメール等でご連絡下さい。河邊幸夫/長谷川さん初ニコニコおめでとうございます。関陽一/長谷川さんニコニコご苦労様です。藤井万博/長谷川さんニコニコご苦労さまで。長谷川毅/はじめてのニコニコ担当です。勝手がわからず、少し遅れてしまいました。以後気を付けます。

出席報告：会員 40名 / 出席 26名 欠席 14名

ゲスト：馬渕治好(卓話)

ビジター：木村真(東京恵比寿RC)、宇佐美博子(東京恵比寿RC)、川西太郎(東京グローバルRC)
計 4名 (順不同・敬称略)

●次回予告/2014年 10月 10日(金) 第1321例会

卓話：「改革を迫られている日本のスポーツ界」

公益財団法人 日本テニス協会

常務理事 高橋 甫 氏

過去、東京南 RC は多くの奉仕活動を行ってこられました。今年度も、第2750地区の交換学生や米山交換留学生を招待してオクトーバーフェスティバルを実施され、彼らも心から喜んでいます。また、学校法人アジア学院で学ぶアジア・アフリカなどの若者を支援しておられ、彼らは帰国後、自国の農業、教育その他の指導者になっているということです。

各クラブの活動紹介

第2750地区では、世田谷 RC からの呼び掛けに応えて、17クラブ協力の下、毎年2名の理数科の教員をカンボジアの教員養成校に派遣しています。カンボジアではポル・ポト政権下で大量虐殺があり、特に知識階級が処刑されて、教員が不足しています。さらに、教員養成学校では特に数学と理科の知識が不足していることから、顕微鏡や天秤など、いろいろな器具を日本から持っていって支援しています。そこで学んだ方が今、立派な先生になっています。

また、赤坂 RC は、障害があつて外出できない方を支援している「風の子会」を応援しています。例えば、映画館に行くと奇声を発して他のお客様から文句が出るため、映画館に行けない人たちに映画を見せるという活動もしています。

その他、各クラブともチャリティーやバザーなどを開催して、その収益を関係団体にご寄付いただいていると思います。また、港区では、中学校10校の校長先生その他とロータリアンとの交流も行っています。私たちの支援に対して小中学生が作文を書いてくれると、その兄弟やご両親も RC に関心を持ってくださることになります。小金井 RC は作文を募集して年間1万作を集めていますが、そのご両親だけで3万人です。それをもう40年も続けているということです。

それから、名画のミュージアムを開いて大勢の方にご覧いただいているクラブや、新会員を対象にしたユーモア会を開催しているクラブもあります。お酒を飲みながらロータリーについて語り合う会を開いているクラブもあります。これは私たちのクラブにもありましたが自然に消滅してしまい、残念に思っています。

RIと第2750地区の重点目標

RIの2010年度の規定審議会からは、各クラブに研修委員会をつくって新人教育をするよう依頼が来ていますが、東京南 RC や赤坂 RC では既に実施されているようです。そもそも、RC は入りたくとも入れるのが実情なので、入会された方には、最初から勉強しようという気持ちが強い方が多いと思います。

第2750地区の重点目標として、1985年から継続しているボリオ撲滅運動、クラブのサポート強化などがあります。それから、地区のニーズに合ったものに取り組むことが重要なので、各地区から要望があったときには、それに取り組んでください。

そして、公共イメージの増強、会員の増強、クラブ拡大です。会員数は両クラブとも驚くような数で毎年増えておられますし、本年度には三つのクラブが誕生する予定です。また、ロータリー財団への寄付150ドル以上は達成されています。米山についても留学生を招待しているということで、1億円となっています。

ホアン RI会長は、RI会長賞へのチャレンジをお願いしています。皆さんのクラブが実施している奉仕活動で、十分その資格があります。また、クラブの奉仕活動の前にロータリーデーと付けていただければ、これも会長賞の対象となります。

日本で最初に開かれた RI 国際大会

昭和36年、私の医学部学生としての最終学年に、RIの国際大会が2日間にわたって東京で開かれたという記事と写真が新聞の3面に載っていました。RIは、日本が赤十字以外に初めて国際舞台に復帰した組織です。各国から約8000人が来日し、昭和天皇・皇后陛下も出席されました。

しかし、当時の東京では、8000人をお迎えするのに帝国ホテル以外に宿がありませんでしたので、今NHKがあるワシントンハイツや、立川の横田ベース、横須賀のベース等の米人将校の家に泊りました。飛行機も当時はプロペラ機ですから、1日1回飛んでくるかどうかでした。そういうときに大きな国際大会が開かれたわけですから、当然、当時の池田首相や閣僚も全員出席しました。場所がなかったので晴海の貿易センターが会場となり、本当にバラックのような建物で国際大会が開催されたのです。

大日本帝国時代の思い出

私がこういう話を出したのは、久邇パストガバナーが海軍兵学校ご出身だからです。ポツダム宣言受諾後、1945年9月2日に大日本帝国の降伏調印式がありました。日本側の代表団は重光葵外務大臣と梅津美治郎参謀総長をはじめとする政軍のトップで構成されました。

一つ残念なことは、ソビエト連邦がこの日、国後、択捉、色丹、歯舞を占領したことです。彼らは米軍が上陸していないから上陸したと言うのですが、この問題はいまだ未解決で残っています。

調印式が行われたミズリー号は全長が270mの大型船で、今はハワイのパールハーバーの隣の港につながっています。海軍の特別攻撃戦闘機が1機、対空砲を避けて海面すれすれに飛んできて船の右側にぶつかり、主翼が折れて甲板に乗り上げて、司令塔にぶつかった跡が残っています。司令塔は、バルチック艦隊の砲弾が降る中で一歩も動かなかった東郷元帥の例に倣い、40cmの厚さで造ってあったので無事でした。

飛行機から投げ出された敵軍のパイロットを、船員は海に放り込もうとしましたが、艦長は「敵といえども國のために戦ったのだ」と、アメリカ軍の慣例にのつとて、星条旗でくるんで水葬にしたそうです。

日露戦争の頃は、日曜日には戦争を中断し、両軍が同じ川で馬を洗ったという人道愛のある戦い方でした。ところが、第二次世界大戦では敵を見たら撃てといわれて、特攻では10代の命がたくさん失われました。

ロータリーの哲学とは何か

雑誌「The Rotarian」の1911年1月号に、ポール・ハリスが、「1人でスタジアムのてっぺんに立って大声で私は寛容だと叫びたい」と書いています。彼は2回目のシカゴRCの会長を途中で辞めているのですが、それはシェルドンが「ロータリーは取引だけでなく、奉仕をやらなければならない」と言って、クラブがもめて真っ二つに割れたためです。そして全米ロータリー、国際ロータリーの初代会長となり、二度と自分のクラブには戻りませんでした。

彼はまた、「あなたが理解するロータリーの哲学は何か」という問い合わせを投げかけています。私は長らくこの答えが分からなかったのですが、手続要覧の社会奉仕のところに、ロータリーの哲学は「超我の奉仕」とあるのを見つけました。従って、われわれは奉仕を一生懸命しなければ、ロータリアンではないということになるのかなと思っています。インターネットの「ガバナー月信」10月号に、このことを書かせていただきましたので、ご覧ください。

(完)